



# 西川町 議会だより

西川小学校入学式

2012.4.16 80号

発行 山形県西川町議会

3月定例議会	2
平成24年度 町の予算	4
予算特別委員会	6
一般質問 7人の議員が一般質問	8
地域防災対策の事務調査報告	15
古道シリーズ④『六十里越街道と本道寺』	16

# 3月定例議会 こんな事が決まりました

平成24年3月定例会は、3月2日から13日までの会期で開きました。平成23年度の補正予算や平成24年度一般会計と8件の特別会計並びに病院と水道事業会計の予算、3件の人事案件、16件の条例改正など37件と請願・意見書が提出されました。平成24年度一般会計・特別会計・企業会計については予算特別委員会を設置して慎重に審議しました。

## 平成23年度の一般会計補正予算

# 2997万円を減額し、歳入歳出 それぞれに 47億4992万円に 全員賛成

一般会計は、除雪費や西川小学校の倉庫建設、農業体質化基盤事業の他に特別会計や企業会計への繰入金など5,260万円を増額する一方で、平成24年度に着工することになった宅地造成事業費や各種事業の終了により、8,257万円を減額し、差引きで2,997万円の減額補正となった。

## 特別会計・企業会計補正予算 全員賛成

	補正後の予算
国民健康保険特別会計 ・保険者数の減少など	7億475万円
後期高齢者医療特別会計	8,105万円
介護保険特別会計 ・介護サービス給付費、システム改修など	6億5,363万円
宅地造成事業特別会計	436万円
病院事業会計	7億5,768万円

## 条例改廃・制定

### ●新たな条例

#### 西川町暴力団排除条例

暴力団による不当な影響を排除し、安全で平穏な生活と社会の健全な発展を確保する。 全員賛成

#### 西川町スクールバス条例

小中学生の通学体制を整備すると共に、住民が利用できるようにする。 全員賛成

### ●廃止するための条例

#### 西川町休養宿泊施設条例

月山荘を平成24年3月31日に廃止する。 全員賛成

### ●一部改正

#### 西川町特別職の職員の給与に関する条例

給料月額を町長20%、副町長10%、教育長5%削減するなど。 全員賛成

#### 西川町立学校屋内運動場使用条例

西川小学校の屋内運動場を住民に開放する。 全員賛成

#### 西川町社会体育施設条例

休校の屋内運動場を社会体育施設とする。 全員賛成

#### 西川町課設置条例

課の設置の変更をする。 賛成8・反対1

新	旧
総務課	総務企画課
政策推進課	町民税務課
町民税務課	健康福祉課
健康福祉課	産業振興課
産業振興課	商工観光課
商工観光課	建設水道課
建設水道課	

※教育委員会事務局組織規則の改正  
教育文化課は、学校教育課と生涯学習課になります。

## 質疑・応答

### ●条例関係

#### 西川町休養宿泊施設条例

**質** 月山荘解体後の土地利用と、キャンプ場の今後はどうなるのか。

**答** 現在のところは、土地利用の計画はない。キャンプ場は県営施設で、総合開発（株）が指定管理者となって運営する。

**質** 里帰りなどにおける保育委託とは何か。利用状況はどうなっているか。

**答** 里帰りや勤務の都合で、町外の保育園を利用する場合に市町村間が行う契約。今年度、1名の利用希望があったために補正要求した。

**質** 地域密着型介護サービス、施設介護サービスが大変増えているが、その内容は。

**答** 地域密着型は、グループホームの利用者が増えたため。施設介護は、特養でのサービスで、前

#### 西川町課設置条例

**質** 産業振興と商工観光は、大課制で横の連携を持つ方がやりやすいと感じる。大課制を改めるメリットは何か。

**答** 総合産業化推進のために、観光誘客の促進が大きな課題となる。商工観光部門が独立して、協力を推進していく必要があると判断した。

**質** 5課から7課に賛同する。係については、今だ過重負担となっているが、ように見えるが。

**答** 課題として捉えており、議論していく。

#### 西川町総合開発審議会条例

**質** 報酬が、学識経験者と一般委員で3.4倍の差がある。差別して額を決めるのはいかがなものか。

**質** 融雪遅延対策補助はどうなるか。

**答** 豪雪対策の3月補正は、県の事業で行う。果樹園、育苗ハウス、中西部地区の田畑に撒く融雪剤を補助していく。今後の状況により、24年度の果樹関係の災害復旧等も考えている。



大雪でつぶれたビニールハウス用パイプ



新メンバーによる総合政策審議会

**答** 専門的な知識を有する方から助言をいただくことで、他の委員も勉強になると考えた。町の非常勤特別職の学識経験者とのバランスを考慮した。

お詫びと訂正…議会だより79号の3ページに誤りがありました。お詫びして訂正いたします。補正予算の（賛成9・反対1）↓（賛成8・反対1）に、請願の（採択賛成2・反対8）↓（採択賛成2・反対7）になります。

# 平成24年度一般会計予算

# 46億7000万円の予算を可決

## 町長の施政方針

「自立と協働の具体的進展」を推進し、4本の柱と主要事業を推進する。

### 4つの柱

1. 価値観  
地域資源を宝に磨き上げ、誇れる地域を創り、誇りを伝える教育で自立する心を育てること。
2. 持続できる地域経済  
地域そのものを愛用・活用して、町内の経済循環力を高め、西川町で生活できる所得を確保すること。
3. 対話と人材育成  
町づくりへの町民総参加（協働）を図り、やる気（自立）を支援し、人材を育てること。
4. コミュニティ  
行政と地域の役割を確認すると共に協働し、安心・安全で持続可能な自治体制を整備すること。

## 平成24年度一般会計・特別会計・企業会計予算

一般会計	46億7,000万円	全員賛成
特別会計		
国民健康保険	6億8,099万円	全員賛成
簡易水道	4,152万円	全員賛成
公共下水道	2億1,361万円	全員賛成
農業集落排水事業	2,798万円	全員賛成
寒河江ダム周辺施設管理事業	400万円	全員賛成
後期高齢者医療	8,544万円	全員賛成
介護保険	6億5,421万円	賛成8・反対1
宅地造成事業	1億2,636万円	全員賛成
企業会計		
病院事業	7億6,624万円	全員賛成
水道事業	1億1,672万円	全員賛成

## 山菜きのこ王国づくり 2,370万円

山菜きのこ等の出荷量を増やして、総合産業化を推進します。山菜きのこ等団地形成事業や山菜出荷販売促進事業などを行います。

## 平成24年度 重点項目 の予算

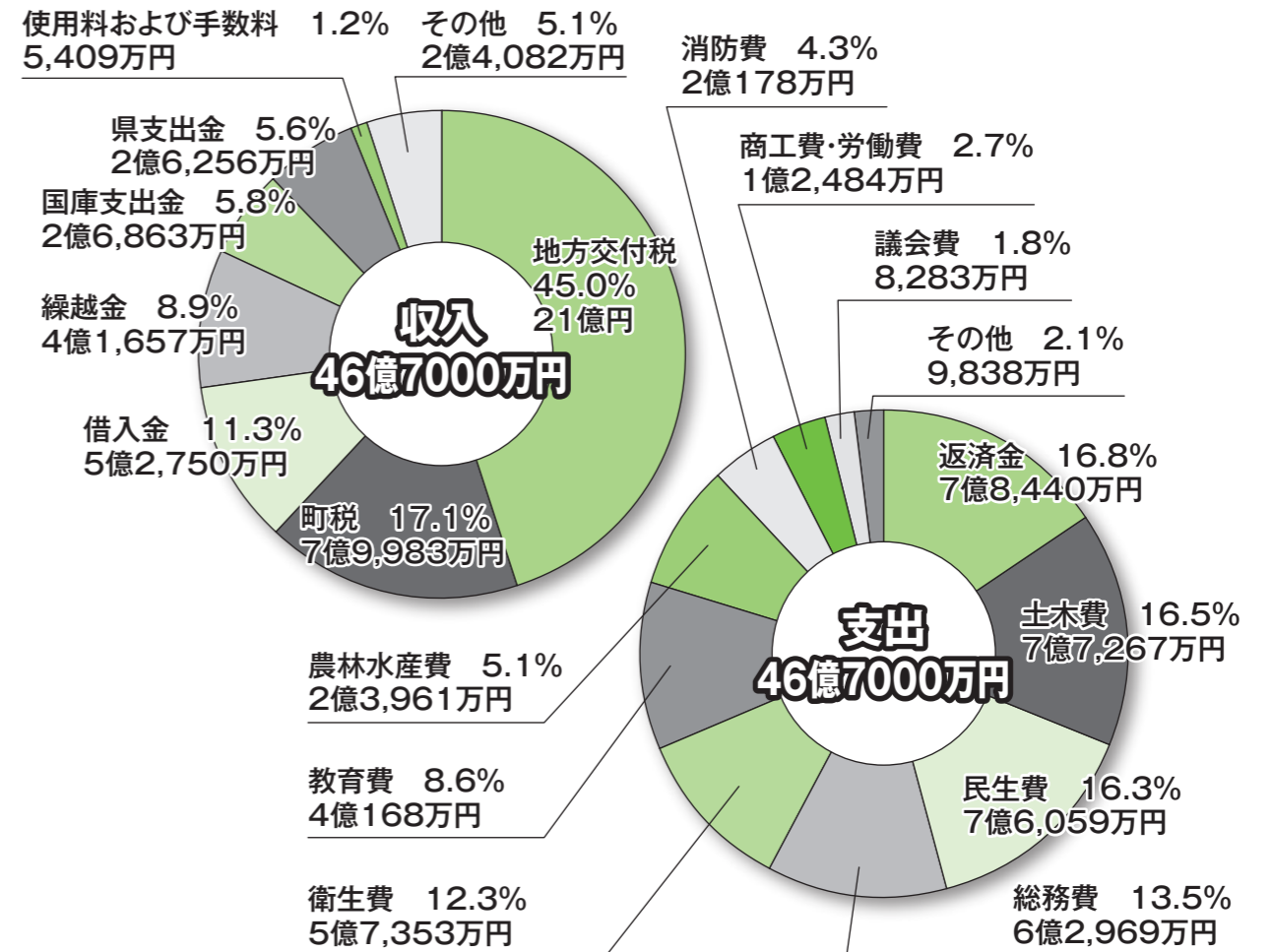


## 保健医療福祉のまちづくり 4,645万円

子どもたちの予防接種や働き盛りの壮年層の健康増進を図るために、生活習慣病予防健診に力を入れていきます。

## 若者が住みたくなるまちづくり 2億7,290万円

海味地内の住宅団地造成と就労支援のための保育体制のさらなる充実、子育て医療給付事業などを行います。



## 人事

### 監査委員

菅野 耕廣 (間沢)

阿部富雄氏は任期満了により退任

### 教育委員会委員

近松 和朗 (水沢)

佐藤安広氏は任期満了により退任

### 町有林運営委員会委員

渡邊久一郎 (睦合)

大泉 覺 (小山)

松田 和義 (吉川)

荒木 周一 (間沢)

荒木竹彌氏、荒木邦昭氏、伊藤高志氏、吉見正氏は任期満了により退任 (3件同意)

## 請願

◎脱原発社会に向けたエネルギー政策の転換を求める意見書の提出について

提出者 さようなら原発県民アクション 呼びかけ人 代表 高橋 義夫 紹介議員 佐藤 幸吉 (全員賛成で採択)

## 意見書

◎脱原発社会に向けたエネルギー政策の転換を求める意見書

提出者 総務厚生常任委員長 青山 知教 (提出先)

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、経済産業大臣、環境大臣 (全員賛成)

# 平成24年度の予算を 審査しました

平成24年度の予算は、特別委員会を設置して4日間にわたり慎重に審議した結果、全て可決しました。  
特別委員会の中で出された主な質疑は次のとおりです。

## 総務企画課

**質** 地域おこし協力隊の要件は何か。  
**答** 都市住民であり、地域の活性化に貢献できること。地域からの要請に応じて紹介している。

**質** 自治会活動保険の支払い状況はどうなっているか。また、地区で主催するミニデイでの事故は該当するか。  
**答** 掛金とほぼ同額の支払いを受けている。

**質** 区が主催する事業であることが基本となるので、区が実施していれば該当する。詳細については相談にはいつでも応じる。

**町民税務課**  
**質** スクールバスと町営バスの台数が9台から13台に増えるのに、委託料が安くなるのはなぜか。安全面に問題は生じないのか。  
**答** 路線バスの運行はデマンド方式となるので、運行時間が短くなる。実働時間を詳細に積算した結果、委託料が安くなった。

**質** 後期高齢者の温泉利用助成事業はあまり活用されていないようだ。  
**答** 温泉券の利用者は、3月末で3割を超える見込み。利用率が悪い原因は取り組みが遅れたことにある。

**健康福祉課**  
**質** 民生児童委員はどのような手順で推薦されているのか。  
**答** 民生児童委員30名のうち、28名は区の推薦、2名は教育委員会が推薦し、町が委嘱する委員で構成する推薦会

**産業振興課**  
**質** 山菜やきのご栽培の森の恵み事業補助は、町民個人が使えるものはあるか。  
**答** 対象者は基本的には団体となる。今後は認定農業者であれば個人でも対象とする。

で決定している。人数は県が定め、町はその人数に合わせ地区の調整を行う。

**質** 保育園の給食は地産地消で町の食材を使っていたきたい。また、小学校給食と共同で食材の購入をしているか。  
**答** 食材はできるだけ町内のものを使用するようにしているが、共同購入はしていない。

**質** 除雪ヘルパーの玄関から公道までの費用と、実績はどうなっているか。  
**答** 1時間あたり千円で、月4時間を限度で金額の半分を助成するもの。利用世帯は9世帯。

**質** 放課後子どもプランは鍵っ子対策。西川町の場合には家に帰っても近所に友だちがいなくての利用もあつたが、一定の役割は果たしたと考えている。また、国と県の補助事業であり、補助員について上限が厳しく5名となり、4時半〜6時半までとしたもの。  
**答** 24年度利用申込みを取った結果、新1年生から20人ほどの希望があった。希望者が多ければ補正対応していく。

**質** 西川小学校の屋根の雪が10メートル先まで飛んできた。児童や車に被害がないよう十分に留意してほしい。  
**質** 二冬過ぎしたが、昨年には無かったことが今年起きた。安全策を具体的に進めていく。  
**質** 新しい小学校での放課後子どもプランの利用人数を、西山学区の20人程度とみているが、意向調査をしたのか。近隣の子どもだけでなく、遠隔地の子どもも利用できるように考慮すべき。

**質** 薪ストーブ補助とあるが、薪の供給はどのような策をとるのか。  
**答** ナラ枯れ対策で、伐採したものを薪にするために、ストーブの補助を考案した。木材の伐採事業は森林組合が行う。

**質** 林野庁通達によるきのこの放射能検査は個人が行うのか。  
**答** 個人で行うことも想定はされているが、町では県に依頼して実施している。

**質** 総合産業化推進事業は、若い人たちの雇用の足がかりとなるよう進めてもらいたい。  
**答** 24年度は、加工、流通部門も入れて、塩蔵、冷凍という具体的な事業で試験的な実験事業を行う。ある程度の成果が出た時点で、補助金などを活用して、生産組合の立ち上げ、支援、活性化を含めた支援を行なっていく。雇用創出が課題だと考えている。

**質** 園児や児童の安全のためにスクールバスに補助員を配置できないか。  
**答** 24年度の対応として、教育委員会で、スクールバスに2名の交通安全監視員のような方を配置することになっている。

**質** 乗車する時間帯が限られており、全車両に配置することはできないので、24年度の様子を見ながら検討していく。

# 平成24年度の予算を 審査しました

**質** 山菜などの加工に使用する急速冷凍庫、ストッカーなどの管理はどが行うのか。また、使用する団体はどこか。  
**答** 機材は総合開発㈱に貸し出す。  
**質** 加工施設は水沢小学校を想定し、加工作業は主婦グループなどを考えている。

**質** 農家経営相談員は配置しないのか。  
**答** 配置しない。県などとも連携を図りながら、必要な時において経営指導を行う。

**質** 山菜やきのこの栽培推進のための集荷体制はどうなっているのか。  
**答** 集荷は出荷組合を立上げる。補助金を出す段階で出荷組合の育成や加入促進を行なっていく。

**質** 山菜きのご団地形成、山菜きのご王国づくりは、路地物栽培と工場形のどちら

**質** 学校図書館に配置される司書が、町立図書館司書を兼務することで、問題は無い。  
**質** コーポ睦合の家賃収入は単年度の黒字の処理はどうするのか。また管理人と仕事の内容はどうなっているか。  
**質** 20戸を想定している。家賃収入は基金積立を行う。管理はシルバー人材センターから週2回の派遣により清掃等をしている。

## 教育委員会

**質** 社会教育費の中に図書館の司書の予算計上がない。町立図書館の運営に支障はないのか。  
**質** 学校図書館に配置される司書が、町立図書館司書を兼務することで、問題は無い。

**質** 基本的には、路地の原木きのご栽培を進めることが主となる。ハウスカット栽培をいろいろな人にも支援していく。

**質** 新しい小学校の図書館は、町立図書館機能も含めた大きな図書館にも関わらず、司書の身分が総合開発㈱の職員というのはいかがなものか。  
**答** 町の臨時職員だと1日7時間しか働くことができないので、総合開発㈱に委託をしている。職員は、有資格者で内容に精通した方の派遣をお願いしている。今後人事管理上の問題として検討する。

**質** 西川小学校の屋根の雪が10メートル先まで飛んできた。児童や車に被害がないよう十分に留意してほしい。  
**質** 二冬過ぎしたが、昨年には無かったことが今年起きた。安全策を具体的に進めていく。  
**質** 新しい小学校での放課後子どもプランの利用人数を、西山学区の20人程度とみているが、意向調査をしたのか。近隣の子どもだけでなく、遠隔地の子どもも利用できるように考慮すべき。

**質** 西川小学校の授業に柔道を導入するが、指導は誰が行うのか。  
**答** 技術だけでなく教育の観点からの指導が大切なので、黒帯を持っている教師が行う。

**質** 西川小学校の地域支援コーナーディネーターはどのような役割を果たすのか。また、どこに配置されるのか。  
**答** これまで、小学校行事には多くの地域のみなさんに関していただいたが、小学



# 説明を求める

7名の議員が質問しました。主な質問内容を掲載しています。

## 地域力と住民パワーを活かした町づくりをどう進めるのか



宮林 昌弘 議員

**答** 共通する地区の課題は、人口・世帯数の減少、人間関係、役員の負担増や担い手不足、活動の見直しなどがあります。課題を解決する一つの方法

**質** 「地域の発展なくして、町の発展なし」は、町づくりの基本である。地域潜在力と住民パワーを活かし、西川町を元気にするために、2年前、地域力を調査したが、地域の実情や問題課題をどう捉えたか。

**答** 高齢化率は高いが、支援・介護の状況を見ると元気な高齢者が多いと思います。老人クラブや高齢者大学での活動、農業生産や直売所、シルバー人材センターなどでの経済活性化に貢献されており、今後は総合産業の取り組みでの活動に期待しています。

**質** 隣接市町の連合婦人会が解散しているが、本町婦人会の現状と課題は何か。農家婦人パワーを農

**質** 本町の高齢化率は県内で一番高いが、高齢者の「知恵、経験、技能」を町づくりに活かさないか。

**答** として地域が主体となつた地域づくり計画を策定していますので、町は職員の派遣や地域づくり補助、外部人材の導入などを行なって支援しています。

**質** 夢と実行力のある青年層の組織化と青年パワーを引き出す手法はないか。

**答** 町の特産品については、特に山菜やきのこを利用した商品づくりが必要であると思っています。新商品開発に参加できる機会を多くつくりながら、女性の参加と協力をお願いしていきます。

**質** 町の特産品について、特に山菜やきのこを利用した商品づくりが必要であると思っています。新商品開発に参加できる機会を多くつくりながら、女性の参加と協力をお願いしていきます。



町を元気にしたい若者のグループGEN（げん）

**答** 青年活動を活発にしていこうためには人材育成が重要です。ボランティアや産業や地域活性化に取り組んでいる若者の他、趣味やスポーツ関係の団

体が多数あります。地域を支える青年育成を今後も推進するために、生涯学習及びスポーツ推進計画の中で若者と一緒に取り組んでいきます。

## 9月議会で質問した「空き家対策」をどのように検討したか



横山 修 議員

**質** 昨年9月の議会において、空き家対策について検討するとの回答があった。その後の対応について、各自治体の条例を調査したか。

**答** 全国では、和歌山県や所沢市などで制定しており、検討中の自治体もあります。県内では、酒田市と鶴岡市での条例が初となります。県では、「空き家対策検討委員会」を設置し、平成24年度に対応指針を策定する

**質** 倒壊の危険性、衛生面や景観上の問題を把握するために、衛生組合と一緒に調査を実施しました。所有者が不明な空き家はありませんが、一部損壊の空き家が5戸あり、所有者に対し安全対策または撤去するよう指導しています。検討委員会は、県の対応指針を受けて考えていきます。

**質** 各議員の提案に対する、「検討する」との回答が多いが、結果の報告がない。これからは、検討結果を議会に提示すべき。

**答** 庁議や町民の方々と検討し実施して

**質** 実態調査を実施したのか。また条例制定の検討委員会を立ち上げるのか。

予定なので、県の動向を注視していきます。



倒壊した小屋

いる事業も多くあります。この場ですぐ検討期間を明確にできない事業もありますが、取り組むべき事業については、今後も前向きに取り組んでいきます。

# 拠点地形成事業の住宅政策 を町民参加型にしては



佐藤 幸吉 議員

**答** 町営住宅は平成26年度建設、長期賃貸住宅は27年度建設予定であり、どのような方法で進めるか、例えば入居者を決め設計にあたるか、モデル住宅にするかなどを十分検討していきたい。いろいろの考えがあれば提案いただきたい。

**質** 長期賃貸住宅建設は、地元建築業者との連携によりモデルハウスを建築することはできないか。

**質** 高齢者住宅は、既設の住宅を参考に検討委員会なるものを立ち上げ、グループホーム的な、より高齢者に優しい住宅を建設することはできないか。

**答** 高齢者住宅でよいのか、その他の福祉施設がよいのかを、健康福祉課を中心に、24年度中に考えをまとめて、その後様々な角度から検討を加えていきます。

**質** 高齢者住宅や公営住宅は実施計画が長いと思う。待っている高齢者の方も多いかと思うので実施時期を早めることは出来ないか。

**質** 周辺計画について、後付けでなく流雪溝を計画の中に入れることは出来ないか。また、商店機能を計画できないか。

**答** 住宅団地は、除雪帯や雪捨て場となる公園を設けて雪に考慮した計画を考えています。流雪溝は、水の確保が課題となり、地域の実情からして現況では難しいと考えています。また、店舗機能については、既存の商店などで対応できることから、今の計画では考えていません。



海味の高齢者住宅

# 観光資源を有効に活用してはどうか



奥山 敏行 議員

**質** 西川町ふるさと宝マップには歴史や観光情報などが多く含まれている。手直しをして製本販売し、地域づくりや観光にもっと活用してはどうか。

**答** 全町分をまとめた冊子にできないか検討していますが、訂正が必要な箇所もあり精査が必要です。また、さらに各地区の宝を入れて付加価値の高いものにし、郷土の文化学習や地域づくりの教本

観光ガイドマップなどとしての活用方法を探っていきます。

**質** 仁田山放牧場の素晴らしい景観と山菜やきのこを活かし、観光と自然体験学習ができる牧場として、誘客につながる活用方法を考えてはどうか。

**答** 放牧機能とふれあい機能をもつ多目的牧場に整備されたので、農業体験などの活用方法について、



仁田山放牧場

関係者で検討しながら考えていきます。

**質** 大井沢小中学校を教育観光の場とするために、町の関係者と財キープ協会環境教育事業部の指導で、専門の指導者を育てては

**答** 大井沢地区は豊かな自然環境とともに、環境教育や生活文化などの面においても他に誇れるものがあります。古くからの自然研究の成果の一つが大井沢自然博物館であり、自

然と匠の伝承館とともに、情報の発信や環境教育の場として充実させていくことが重要であると考えます。

**質** 月山や志津、大井沢地域の豪雪と豊かな歴史を資源として、春夏秋冬誘客するための人材育成ソフトを作っては。

**答** 環境教育は、観光の一つの形態として担う有力な分野であり、月山、大井沢地区はその舞台として大きな可能性があるかと認識しています。

月山や大井沢地区の豊かな自然や歴史、風土などを幅広く活かした観光や環境学習などのプログラムを整備していきます。

- ・介護保険サービスを利用しやすく
- ・AEDの夜間対応は



佐藤 耕三 議員

**質** 介護保険サービスをもっと簡単に利用できないか。  
 福祉用具購入や住宅改修の支援方法は2種類あるが、町は償還払いのみ採用している。なぜ受領委任払いの方法も採用できないのか。

**答** 介護保険サービスについては、利用者の負担軽減を図るために、償還払いと受領委任払いのどちらでも選択できるように、前向きに検討いたします。

**質** AED（自動体外除細動器）は、町には現在14個所に設置されているが、西川小学校やスキー場などにも設置すべきと思う。また、講習会はどのくらい行っているのか。

**答** 町民スキー場には月山リフトに設置しているAEDをシーズン中配備しており、西川小学校には、病院や消防署とも近いので現在のところ設置は考えていません。

**質** 室内にあるAEDは夜間使用できない。対応策は。

**答** AEDの配備は、事業所や町などで講習は、昨年1年間で15回、受講者は約300人に上ります。

**質** 購入しており、管理も設置している事業所などで行なっています。公共施設に配備しているAEDを夜間や緊急時に使用するには、管理が行き届き、地域の方が分かりやすい保管場所にする必要があるため、地域で十分検討して決定していただかないと、対応は難しいと考えます。



AEDを使用した救急救命講習会

## 介護保険の第1号被保険者の保険料は据え置くべき！



飯野 咲子 議員

**質** 元気な前期高齢者は増えるが、後期高齢者は減る推計である。基金も8千万円あるので、保険料の値上は必要なしと考えるがどうか。

**答** 介護保険料は、国、県、町被保険者の負担割合が決まっていますので、保険給付額の増加予測により保険料を値上げしないと介護保険料は据え置くべきです。

**質** 今年も豪雪であり、所得税非課税世帯に福祉灯油券を実施してはどうか。

**答** 福祉灯油については、灯油価格の推移や国、県の動向を見ながら判断してまいります。

**質** 所得税非課税世帯の除排雪の補助は、村山管内に一親等者がいても、経費の5割の補助を実施すべきでは。また、生活道路の徹底した除排雪の取り組みが必要ではないか。

**質** 所得税非課税世帯の除排雪の補助は、町の高齢者除雪ヘルパー派遣事業で実施しており、西村山管内に一親等者がいる場合は該当にしません。ただし、該当にならない高齢者世帯は、町内会長などの判断により有償及び無償除雪ボランティアにより実施しています。

**質** 山菜きのこなどの放射能検査は必要。

**質** 生活道路は、除雪ヘルパー派遣事業や除雪ボランティアで対応しており、社会福祉協議会で購入した除雪機も利用できます。

**質** 放射能検査は必要。

**質** 放射能検査は、昨年の3月24日より農畜産物、魚介類全て主産地を対象に検査し、安全が確認されています。きのこのほだ木の検査は、きのこ生産者への説明不足もあり、誤解されていることもあるため、県にお願いして関係団体を対象に説明会を開催してもらいます。

**質** 林野庁通知の検査対象は山形県も入っているのので説明会を実施すべきでは。検査の義務は個人の責任ではないのでは。



ケアハイツ西川のディサービス



伊藤 哲治 議員

## 今年度当初予算案と第5次総合計画に掲げた重点項目の関わりは

**質** 住み続けたい意識を醸成する町の魅力作りのために、拠点地形成をどのような視点で捉えているのか。

**答** 若者定住対策として、自然環境が豊かな住環境と共に、通勤や子育ての利便性のより高い立地条件と子育て支援施設などの充実、さらに若者が定住できるような誘導策も必要と考えています。平成24年度で用地取得と造成を進め、25年度には分譲の予定としています。

**質** 西川町で生活できる所得を確保（自立）する方策として、総合産業化推進を始め、当初予算に何をどのよう重点的に盛り込んだのか。

**答** 24年度は山菜きのこに特化した総合産業化に取り組みます。山菜きのこの集荷から加工、販売までの一部を当初予算に、さらに年度途中でも目途がつき次第、補正予算に



子育て支援センターで、だんごさし

計上して進めていきます。その他、山菜きのこの祭りや長期イベントや情報発信の充実など、総合的に地域経済活性化を図っていきます。

**質** 12月議会で、第三セクターの経営改善をはかるには、役員構成について見直しを行いたい旨の答弁があったが、その結果は。西川町総合開発(株)と(株)米月山の23年度末の決算見込みは。

**答** 経営コンサルタンのアドバイスを受けながら経営改善を行っている最中なので、その成果が出てきた段階で考えていきます。総合開発の決算見込みは、昨年度よりは良くなったものの400万円前後の赤字となる予想。米月山は、赤字は出ないものと予想しています。

**質** 各地域における閉校後の廃校の活用について、具体的方策を地域に委ねるだけでなく、町としてどう進めていくのか素案を示すべきと考えるが。

**答** 利活用については、6月の議会全員協議会や各地区で開催した「町長と語る会」で、中間報告として説明しています。地域づくり計画や保健医療福祉計画、財政計画との調整を行いながら、24年度中に具体案をまとめた」と考えています。

# 事務調査 報告

### 総務厚生常任委員会

西川町における地域防災対策の現状と課題について調査を行い、3月議会で報告しました。

### 自主防災計画について

**対応基準**  
○自主防災組織の活動はこれまで行っているのか、二次災害を防ぐ上にも明記しておくこと。

○地震、豪雨、火災など災害に際した避難場所や避難所については、地区と町が協議して決定すること。

### 組織

○区や町内会など、地域にある既存の組織を活用し、地域住民が分かりやすく動きやすい自主防災組織にする。

○就労している人たちが地域を離れる日中の体制を決めておくこと。  
○自主防災組織に属する全員が自分の役割を明確に理解し、災害の際に動くように避難訓練のあり方を明記すること。

○自主防災組織と自衛消防団については、地域での活動に支障を来さないよう一体的な活動ができるようにしておくこと。

### 情報伝達

○広報車や有線放送、Eメールなど、住民に情報を効率よく伝えるための方法と、町内における災害発生時には、被災地区から町に情報を伝える方法も具体的に考えておくこと。

○停電、電話線の切断などを想定した対応を考えておくこと。

### 物品や食糧品の確保

○停電、電話線切断など最悪のことを想定した中で、救助活動や避難時に必要な物品の品目は共通項目として決定し、町が助成して全ての地区に速やかに配備すること。  
○各避難所において物品の点検管理を常に行い、いつでも使える状態にしておくこと。

○各避難所において災害時の食糧の確保が確実に行えるようにしておくこと。

### 町の体制について

#### 町の防災体制

○災害発生時に速やかに行動ができるように、防災計画に沿って職員の訓練を定期的実施すること。  
○災害発生時に人的協力や物品貸出しの協力を得やすくするために、企業や関係機関との提携の具体的な内容を明らかにすると共に、町民に周知すること。

○町は、縦割りではなく情報を共有し、不備なく無駄なく速やかに対応できる体制にすること。

#### 町民への情報発信

○町の情報を町民に効率よく伝えるために、情報収集を体系化し、危機管理にも活用できる体制にしておくこと。

#### 大規模災害を想定した対応

○町外への避難を想定して、地域外市町村との災害時応援提携などを検討すること。

# 議会の動き

### 議会運営委員会

- 2月15日
- 3月定例会の運営を決定

### 議会全員協議会

- 12月27日
- 住宅団地整備事業の進め方の協議
- 2月6日
- 介護保険事業計画の協議
- 2月17日
- 24年度予算内示
- 3月6日
- 保健医療、生涯学習、交通安全、廃棄物処理、地域防災計画の協議他

### 産業建設常任委員会

- 1月26日
- (株)米月山事務調査
- 2月22日
- 観光産業事務調査
- 3月9日
- 観光産業事務調査

### 広報公聴常任委員会

- 議会だより編集会議
- 3月9日
- レイアウト会議
- 3月23日
- 編集会議
- 4月5日
- 編集会議
- 4月9日
- 校正
- 4月11日
- 校正

### 総務厚生常任委員会

- 1月16日
- 防災関係事務調査
- 2月13日
- 光ケーブルの高度利用事務

## 各地区に発電機を設置

今年度予算で、各地区避難所に発電機と投光器、避難所表示看板を設置することが決まりました。



# 『古道』シリーズ 4 六十里越街道と 本道寺

六十里越街道案内人

布施 範行 さん (本道寺)



志津にある常夜灯

六十里越街道は内陸と庄内を結ぶ最短の山岳路であり、そのルーツは古代まで遡るといえる。戦乱の時代には軍馬が行き交い、天保時代には庄内藩主が参勤交代で雪の街道を江戸へ向かった。戊辰戦争では街道沿いで激しい攻防があった。

街道は最上川の舟運と共に本県の文化、経済、産業に大いに貢献し、とりわけ、湯殿詣りの祈りの道としての要路だった。湯殿詣りのお行様は一夏数万人、丑年御縁年には15万人程が街道を埋め、神域の各宿場は大いに潤い、地域にも甚大な利益をもたらした。

本道寺は徳川家の七祈願所の一つとして隆盛を極め、堂塔、宿坊が軒を連ね、数多くの文人が訪れた。古くは高山彦九郎の「北行日記」や十返舎一九の「金の草鞋」皆川義川の名所絵図に詳しい。

歌人斎藤茂吉は、15歳の初詣りの時には本道寺の宿坊に泊っている。文化勲章受章者の丸谷才一は、小説「秘密」の中で街道の情景を描いている。

さらに、岡本太郎は随筆「修験の夜」に「瞳孔が攪乱されるような朱、紅、黄、濃く深くみ

だれ輝く紅葉が山いっばいに噴きあがっていた。街道を本道寺から(略)世界は透明でどこまでも紅い密度の中をくぐっていく。視界がひらけて峠に出ると澄んだ秋空の真正面に月山が不意に純白な峯を浮かべる。ひろびろと背に雪を光らせ、清浄な神秘感である。」と記している。

本道寺を過ぎると、街道は、弓張平で道智道と合し、公園を横断して石畳の道にかかる。

女人禁制の湯殿詣りに代わり、女人は五色沼で身を清め、御山に向かい諸願成就を祈った。

「お志津参り」は女人のパワースポットだった。お行様は、玄海から最上本道を通り、湯殿に詣でた。

祈りの道はみのり(豊穰)をもたらし、各地に石碑を残した。街道は直進した庄内との境「大岫峠」を越える。

峠にたつとき／すぎき  
しみちはなつかしく／  
ひらけくるみちはたのしい／みちはこたえない／みちはかぎりなくさそうばかりだ

真壁仁の詩の一節だ。

「六十里越街道」は、後世に残すべき「町の宝」だと思ふ。



80号の表紙

西川小学校  
入学式

明るく春の日差しの中、西川小学校では、新一年生53名が入学式を迎えました。

深山の春は未だ遠く感じられませんが、希望に胸膨らませた子どもたちが集う新たな統合小学校の歴史がスタートしました。

## 編集後記

長い冬もようやく終わり、明日に夢を抱いて、新しい小学校や中学校へ、そして町を離れて高校へと、子ども達はたくましく、未来へ向かって歩み始めました。

そして、各地区には、たくさん思い出を蓄えた小学校が、その役割を終え、静かに佇んでいます。

新人議員4人で議会だよりを担当してきました。当初からの目標である議会活動と西川町の良さを分かりやすく伝える紙面づくりのために、毎回、時間を惜しまず議論を重ねてきましたので、少しずつ良い紙面になっているという手ごたえを感じているところです。

新年度も同じメンバーで編集しますのでよろしくお願致します。

(奥山 敏行)

- ご感想お寄せください。
- 発行・編集責任者 議長 井場 榮治
  - 編集委員 委員長 奥山 敏行
  - 副委員長 横山 修
  - 委員 飯野 咲子
  - 委員 佐藤 耕二